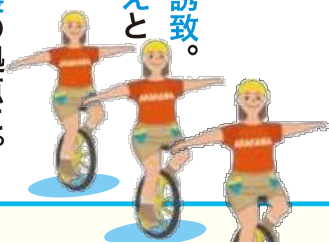


新時代の 荒川に 全力投球！



- ① 第2スポーツセンターの建設。
学校体育館のエアコン設置。
- ② 区内産業の発展・育成。
繊維街を中心とした観光客の誘致。
- ③ 日暮里駅南口紅葉橋の建て替えと
バリアフリー化。
- ④ 西日暮里再開発の実現、
大規模ホールを建設し文化発展の拠点に。
- ⑤ コミュニティバス日暮里ルートの開設。
- ⑥ 障がいをお持ちの方の生活支援。
グループホームの整備。
- ⑦ 民間保育園の誘致により待機児童解消。



区政報告



もぎぞう

ひろし

応援

します！

荒川区長 西川太一郎

自由民主党東京第14選挙区支部長
衆議院議員 松島みどり

自由民主党荒川総支部長
前都議会議員 崎山 知尚

※イメージパースは、現時点での想定であり、検討状況によって変更となる場合があります

もぎ弘の 考えていること

新時代の
荒川に
全力投球



1 第2スポーツセンターの建設 学校体育館のエアコン設置

荒川スポーツセンターの大規模修繕工事が予定されています。より使いやすい施設となることを期待しています。しかし、現在でもいろいろな競技団体の奪い合いになり、思うようにならない状況です。荒川区にもう一つスポーツセンターが必要だと考えます。また、災害時の避難所ともなる学校体育館のエアコン設置は予算化されました。災害はいつ起こるか分かりません。一日も早い全校実施を求めています。

2 区内産業の発展・育成 繊維街を中心とした観光客の誘致

日暮里繊維街は多くの人が集まってきています。外国人観光客も大変増えてきています。荒川区にとって大事な観光資源です。しかしながら近年ではマンション建設の際、一階にテナントを作らない業者が多く、商店街の連続性が途切れてしまうと心配している地元の方が多くいます。

私は地元の方と協力し、理解を得ながら一階をテナントにしなければならない条例制定を進めて参ります。また、区民事務所を建て替え建設する日暮里活性化施設にも期待しています。

3 日暮里駅南口紅葉橋の建て替えと バリアフリー化

日暮里駅南口紅葉橋の建て替えとバリアフリー化が急がれています。私も早期付け替えを要望していますが JR の協力がなかなか得られません。また、構造的な問題でエスカレーターの設置は困難と言われています。しかし、オリンピック・パラリンピックの観光客のためにも絶対に必要と考えます。早期実現を強く要望し続けます。

◀西日暮里再開発イメージ図

4 西日暮里再開発の実現

西日暮里再開発が進んできています。まだ反対の方もいらっしゃいますが早期にご理解をいただき実現させたいと思います。西日暮里再開発地区（旧道灌山中学校跡地周辺）は荒川区にとっても重要・貴重な地域です。私は交通至便な西日暮里に大規模ホールを建設し、文化発展の拠点にしたいと考えています。



5 コミュニティバス日暮里ルート



この問題はもう 10 年も要望していますが、採算性などの問題もあり、実現できていません。日暮里は都心部に出かけるには便利な地区ですが、区内移動は不便な地区です。一日も早く実現するまで主張し続けます。

6 障がいをお持ちの方の生活支援 グループホームの整備

障がいをお持ちの方にも優しい街にしたいと考えています。自立して生活できるよう、収入を得られるような職場を作る必要があります。

また、親亡き後の生活の場の確保としてグループホームの整備が必要です。昨年やっと東日暮里に一つ建設することができました。しかしながらまだまだ足りません。一方で現在の都や国の補助制度では経営するのが困難との事業者の声もあります。何とか制度変更をお願いしたいと思います。



7 保育園

保育園の待機児解消も急務です。荒川区としても努力を重ねて現在では待機児童は少ない区です。今後も保育需要は増加してくると思われます。そのためには民間の保育所誘致が必要です。しかし、いつまでもこの傾向が続くわけではありません。児童減少になった時の対応も考えておく必要があると考えます。



▲児童相談所イメージ図



本会議場での演説▲

5月より新しい元号が始まります。この新しい時代を迎え、もっと住みやすい荒川区にしてゆくためには、まだまだこれからやっていかなければならない事がたくさんあります。現在の荒川区は人口も増え、税収も増えてきています。若い方からも荒川区は住みやすい街、住んでみたい街との評価をいただいた結果と考えています。

しかし、現状に甘えることなく行政改革を行い、支出を抑え、区民にとって真に必要な政策を充実させてゆく事が大切だと考えます。

基金もだいぶ増やすことができました。ただ、老朽化しつつある学校（昭和30年代に建設された学校も多数あります）や公共施設の建て替えの時期が迫ってきています。大規模改修工事を行い、長寿命化を図る事は大事ですが、いつかは建て替えなければならない時が必ず来ます。区役所庁舎も同様です。将来の需要に備えしっかりと資金計画を立ててゆく必要があると考えます。

新時代を生きる子供たちに負担を掛けるわけにはいきません。今やらなければならない事がたくさんあると考えています。

もぎ弘

昭和28年9月16日 荒川区日暮里町（現在の東日暮里）に生まれる

昭和41年 荒川区立第三日暮里小学校卒業

昭和51年 慶應義塾大学商学部卒業

昭和53年 2年のサラリーマン生活のち糸栄産業（株）入社
父親とともに家業の繊維ウエイト業に携わる平成24年より取締役社長
その間に荒川区立第三日暮里小学校 PTA 会長、荒川区青少年委員、青少年育成日暮里地区委員理事、東日暮里一丁目町会役員（現副会長）、荒川区国際交流協会理事、荒川区一輪車協会会長

平成11年 荒川区議会議員に当選5期20年務める
自由民主党所属 57代荒川区議会議長、荒川区監査委員、予算特別委員会委員長、決算特別委員会委員長、総務委員会委員長、文教・子育て委員会委員長（現）等を歴任

もぎ弘後援会事務所

〒116-0014 東日暮里2-47-5
Tel.03 (3891) 9036
<http://www.h-mogi.jp/>

もぎ弘の
考えていること